

**平成31年度「新宿区高齢者の保健と福祉に関する調査」
(質問紙によるアンケート調査)設問の方向性(案)**

平成31年度 1-① 一般高齢者【基本】調査設問の方向性（案）

- ◆調査対象 新宿区に居住する要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者（無作為抽出3,000人）
 ◆方向性 ○→継続 ×→削除（理由1）他の設問へ統合するため（理由2）重点施策変更のため（理由3）その他

平成28年度 一般高齢者【基本】調査				平成31年度
見出し	設問番号	設問	ねらい	方向性
あなたのことをおたずねします	1	あなたの性別をお選びください。（1つに○）	回答者の基本属性を把握する。	○
	2	あなたの年齢をご記入ください。		○
	3	あなたのお住まいは、どの特別出張所管内ですか。（1つに○）		○
	4	現在、あなたはどなたかと同居していますか。同居している場合は、あなたからみた続柄で、同居している方すべてに○をしてください。（あてはまるものすべてに○）	高齢者の社会的な孤立の状況を把握する。	○
		あなたは、ご家族やご親戚と連絡をどのくらいとっていますか。（1つに○）		×（理由3）
	4-1	同居の方は、全員65歳以上ですか。（1つに○）		○
		日中、一人になることはありますか。（1つに○）		×（理由3）
	5	あなたが日常生活で困ったことがあった時、同居者以外に誰か手助けを頼める人がいますか。（1つに○）		○
	5-1	手助けを頼める人はどなたですか。（あてはまるものに○）		○
	6	あなたご本人の収入は、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）	収入源を把握する。	○
	7	あなたは、現在のご自身の暮らし向きをどのように感じていますか。（1つに○）	暮らし向きを把握する。	○
	8	あなたは今後、働きたい（働き続けたい）ですか。（1つに○）	今後の就労意向とその理由について把握する。	○
	8-1	働きたい（続けたい）理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）		○
	8-2	働きたいが、できない（または働きたくない）理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）		○
9	あなたは、新宿区シルバー人材センターをご存じですか。（1つに○）	シルバー人材センターの認知度について把握し、側面支援の方法を検討する際の参考とする。	○	

平成28年度 一般高齢者【基本】調査				平成31年度
見出し	設問番号	設問	ねらい	方向性
健康状態や健康づくり等についておたずねします	10	あなたは、健康だと思いますか。（1つに○）	健康状態を把握する。（主観的健康観）	○
	11	あなたは、現在治療中の病気がありますか。（1つに○）	かかりつけ医に関する状況把握とともに普及・啓発を図る。	○
	11-1	治療中の病気は、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）		○
	11-2	受診している医療機関は、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）		○
	12	あなたには、継続的に診療を受けていたり、体調が悪いときなどに気軽に相談できる診療所・クリニックの「かかりつけ医」がいますか。（1つに○）		○
	12-1	かかりつけ医がいない理由は、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）		○
		あなたは、過去1年以内に入院した経験がありますか。（1つに○）		×（理由2）
		退院にあたって困ったことは、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）		×（理由2）
	退院にあたって、自宅で治療や介護を受けるために、どちらに相談しましたか。（あてはまるものすべてに○）	×（理由2）		
在宅療養等についておたずねします	13	あなたは、介護が必要になった場合、どこで生活を続けたいと思いますか。（1つに○）	在宅療養を困難にするものを把握する。	○
	14	あなたは、脳卒中の後遺症や末期がんなどで長期の療養が必要になった場合、理想として自宅で療養を続けたいと思いますか。（1つに○）		○
	15	ご自宅での療養は実現可能だと思いますか。（1つに○）		○ （第7期指標）
	15-1	実現は難しいと思う理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）		○

平成28年度 一般高齢者【基本】調査				平成31年度
見出し	設問番号	設問	ねらい	方向性
人生の最終段階における医療についておたずねします	16	あなたは、ご自身の最期をどこで迎えたいと思いますか。(1つに○)	看取りやエンディングノートの記載経験などについて把握する。	○
	17	あなたは、人生の最終段階において受けた医療や受けたくない医療(※)について、ご家族とどのくらい話し合ったことがありますか。(1つに○)		○
	17-1	それはどうしてですか。(あてはまるものすべてに○)		○
	18	あなたは、自分で判断出来なくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいかあるいは受けたくないかなどを記載した書面(エンディングノートなど)をあらかじめ作成しておくことについて、どう思いますか。(1つに○)		○
緩和医療・ケアについておたずねします	19	あなたは、がんの「緩和医療・ケア」について、ご存じですか。(1つに○)	緩和医療・ケアの認知度と意向を把握する。	○
	20	あなたは、がんで、病状の回復が期待できない場合、「緩和医療・ケア」を受けたいですか。(1つに○)		○
	21	あなたは、がん以外の病気で、病状の回復が期待できない場合、症状の緩和を主とした医療・ケアを受けたいですか。(1つに○)		○
歯科についておたずねします	22	あなたは、治療や予防のために気軽に受診できる「かかりつけ歯科医」がいますか。(1つに○)	かかりつけ歯科医に関する状況把握とともに普及・啓発を図る。	○
	23	あなたは、往診してくれる歯科医院があることをご存じですか。(1つに○)		○
摂食嚥下(食べる機能)についておたずねします	24	あなたの食べる機能について、ア～ウのすべての質問にお答えください。(それぞれ1つに○)	摂食嚥下について把握するとともに、在宅医療相談窓口の認知度を把握し、今後の施策展開の参考とする。	○
	24-1	専門家に相談したことはありますか。(1つに○)		○
		あなたは、食べる機能が衰えてきた時、区の在宅医療相談窓口等で、相談にのってもらえることをご存じですか。(1つに○)		×(理由2)
薬局についておたずねします	25	あなたは、病院・診療所から処方された薬をもらう薬局を1か所に決めていますか。(1つに○)	かかりつけ薬局について把握し、今後の施策展開の参考とする。	○
	25-1	その薬局では、薬の説明を聞いたり、相談をすることができますか。(1つに○)		○
	26	医師や薬剤師に見せることであなたの薬の情報が正しく伝わり、治療方針を検討する役に立てることができる「お薬手帳」を活用していますか。(1つに○)		○

平成28年度 一般高齢者【基本】調査

平成31年度

見出し	設問番号	設問	ねらい	方向性
お住まいについておたずねします		あなたは、現在のお住まいに何年住んでいますか。(1つに○)	住まいの状況や住み替えの意向を把握する。	×(理由3)
		現在のお住まいは、次のうちどれですか。戸建ての場合は建物の階数、集合住宅の場合は住んでいる階数をそれぞれご記入ください。(1つに○)		変更前
	27	現在のお住まいは次のうちどれですか。(持家・公営借家・民営借家・その他)(1つに○)		変更後
		現在のお住まいにエレベーターは設置されていますか。(1つに○)		×(理由3)
	28	あなたが、現在のお住まいで、不便や不安を感じていることは、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)	住まいでの不便などから課題を探る。	○
		あなたは、現在のお住まいに住み続けたいですか。(1つに○)	新たな住宅セーフティネットにおける住宅確保要配慮者の住み替え需要を把握し、高齢者等の入居支援策を検討する。	変更前
	29	あなたは、現在のお住まいに住み続けることができますか。		変更後
		住み替え先は、どのような形を考えていますか。(1つに○)		変更前
	29-1	(住み続けることができないと答えた方にお聞きします)その理由は何ですか。		変更後
	30 (民営の借家にお住まいの方にお聞きします)お住まいの賃料・専有面積についてお答え下さい。	新規		
介護保険制度についておたずねします	31	今後、高齢者の増加に伴い、サービスにかかる費用も増大することが予想されます。介護保険のサービスと費用負担について、あなたのお考えに最も近いものは、次のうちどれですか。(1つに○)	保険サービスと保険料の負担についての考えを把握する。	○

平成28年度 一般高齢者【基本】調査				平成31年度
見出し	設問番号	設問	ねらい	方向性
権利擁護についておたずねします	32	あなたが成年後見制度を利用することになった場合、どのような人に後見人になって欲しいと思いますか。すでに利用している方もお答え下さい。(あてはまるものすべてに○)	成年後見制度に期待する役割などを把握する。	○
	33	あなたが成年後見制度を利用することになった場合、期待する役割は何ですか。すでに利用している方もお答えください。(あてはまるものすべてに○)		○
	34	成年後見制度において、社会福祉協議会に期待する役割は何ですか。(あてはまるものすべてに○)		○
	35	あなたが、市民後見人に期待することは何ですか。(あてはまるものすべてに○)		新規
	36	あなたが、新宿区社会福祉協議会が実施する法人後見事業に期待することは何ですか。(あてはまるものすべてに○)		新規
	37	あなたは、「新宿区成年後見センター」をご存じですか。(1つに○)		成年後見センターの認知度を把握する。
災害時の支援などについておたずねします	38	災害で困った時、同居者以外で頼りになる人がいますか。(1つに○)	災害発生時に支援をしてくれる存在について把握し、今後の施策へつなげる。	○
	38-1	それはどなたですか。(あてはまるものすべてに○)		○
	39	「災害時要援護者名簿登録」をご存知ですか。		事業の認知度を把握する。
健康・福祉サービスの情報や相談窓口についておたずねします	40	あなたは、「高齢者総合相談センター」の名称をご存じですか。(1つに○)	健康や福祉サービスに関する情報入手手段を把握する。	○ (第7期指標)
	41	あなたは、「高齢者総合相談センター」が何をする機関かご存じですか。(1つに○)		○ (第7期指標)
	42	あなたは、あなたのお住まいの地域を担当する「高齢者総合相談センター」がどこにあるかご存じですか。(1つに○)		○ (第7期指標)
	43	あなたは日ごろ、健康や福祉サービスに関する情報をどのような手段で入手していますか。(あてはまるものすべてに○)		○
	44	あなたの入手している健康や福祉サービスに関する情報量は足りていると思いますか。(1つに○)		○
自由記述	45	最後に、高齢者の保健と福祉に関する施策や介護保険について、区へのご要望・ご意見がありましたらご自由にお書きください。		○

計59問

(内訳：新規…5 継続…51 変更…3 削除…8)

平成31年度 1—② 一般高齢者【重点】調査設問の方向性（案）

- ◆調査対象 新宿区に居住する要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者（無作為抽出3,000人）
 ◆方向性 ○→継続 ×→削除（理由1）他の設問へ統合するため（理由2）重点施策変更のため（理由3）その他

平成28年度 一般高齢者【重点】調査				平成31年度
見出し	設問番号	設問	ねらい	方向性
あなたのことをおたずねします	1	あなたの性別をお選びください。（1つに○）	回答者の基本属性を把握する。	○
	2	あなたの年齢をご記入ください。		○
	3	あなたのお住まいは、どの特別出張所管内ですか。（1つに○）		○
	4	現在、あなたはどなたかと同居していますか。同居している場合は、あなたからみた続柄で、同居している方すべてに○をしてください。（あてはまるものすべてに○）	高齢者の社会的な孤立の状況を把握する。	○
		あなたは、ご家族やご親戚と連絡をどのくらいとっていますか。（1つに○）		×（理由3）
	4-1	同居の方は、全員65歳以上ですか。（1つに○）		○
		日中、一人になることはありますか。（1つに○）		×（理由3）
		あなたが日常生活で困ったことがあった時、同居者以外に誰か手助けを頼める人がいますか。（1つに○）		×（理由3）
		手助けを頼める人はどなたですか。（あてはまるものすべてに○）	×（理由3）	
	5	あなたは現在、収入のある仕事をしていますか。（1つに○）	就労の状況を把握する。	○
		あなたは、現在のご自身の暮らし向きをどのように感じていますか。（1つに○）	暮らし向きを把握する。	×（理由3）
6	あなたが生涯で一番長く就かれている職業をお知らせ下さい。（1つに○）	地域づくりの潜在的な担い手を探る。	新規	

平成28年度 一般高齢者【重点】調査				平成31年度
見出し	設問番号	設問	ねらい	方向性
健康状態や健康づくり等についておたずねします	7	あなたは、健康だと思いますか。(1つに○)	健康状態を把握する。(主観的健康観)	○
		あなたは、現在治療中の病気がありますか。(1つに○)	治療中の病気を把握する。	×(理由2)
		治療中の病気は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)		×(理由2)
		あなたは、食事について、どのようなことに気をつけていますか。(あてはまるものすべてに○)	食生活について把握することにより、高齢者の虚弱予防に必要な施策展開の参考とする。	変更前
		あなたは、食生活について、日頃どのようなことが気になっていきますか。(あてはまるものすべてに○)		変更前
	8	あなたの現在の身長、体重をご記入ください。		新規
	9	あなたが昨日食べた食品は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)※10品目		変更後
	10	あなたは、食料品を主にどこで購入されていますか。(あてはまるものすべてに○)		変更後
	11	あなたは、友人、知人など、誰かと一緒に食事をするのがどのくらいありますか。(1つに○)		○
	12	あなたが夕食を同居している人と一緒に食べるのは、週に何日ですか。(1つに○)		○

平成28年度 一般高齢者【重点】調査

平成31年度

見出し	設問番号	設問	ねらい	方向性
健康状態や健康づくり等についておたずねします		あなたは、筋力や体力の衰えを感じることはありますか。(1つに○)	ロコモティブシンドロームのリスクを把握することにより、今後の施策展開の参考とする。	変更前
		あなたは、足腰・関節に痛みを感じることはありますか。(1つに○)		変更前
		あなたは、足腰の健康や、骨を丈夫にするためにしていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)		変更前
	13	日常生活で体を動かすことについておたずねします。あなたは毎日どれくらい体を動かしていますか。(1つに○)		変更後
	14	あなたは、以下の運動(ウォーキング、体操、筋力トレーニング、その他運動)を、どれくらいの頻度でしていますか。(1つに○)		変更後
	15	あなたは、足腰を鍛えるためには、歩くだけでなく筋力トレーニングが必要であることを知っていますか。(1つに○)		変更後
	16	あなたは、以下の中であてはまるものはありますか。(あてはまるものすべてに○)※ロコチェック		○
	17	あなたは、日常生活の中で尿がもれることがありますか。(1つに○)	尿もれのある人割合の把握と、尿もれの社会生活への影響	新規
	17-1	(「ある」と回答した方) 尿もれが心配で外出するのを控えることはありますか。(1つに○)		新規
17-2	(「ある」と回答した方) 尿もれにどのような対処をしていますか。(あてはまるものすべてに○)	新規		
介護予防についておたずねします	18	あなたは、「介護予防(※)」について関心がありますか。(1つに○)	介護予防への関心や区が実施している介護予防教室への参加意向を把握する。	○ (第7期指標)
	19	あなたは、介護予防教室について、どのような内容を希望しますか。(あてはまるものすべてに○)		○

平成28年度 一般高齢者【重点】調査

平成31年度

見出し	設問番号	設問	ねらい	方向性
日ごろの生活についておたずねします		あなたは普段、どの程度、外出しますか。(1つに○)	外出回数や近所とのつながりを把握する。	変更前
	20	あなたはバスや電車で外出していますか。		変更後
	20-1	その頻度はどのくらいですか。(あてはまるものに○)		変更後
	21	あなたは、近所の方とどのようなお付き合いをしていますか。(1つに○)		○
		あなたは、友人・知人と会う頻度はどのくらいですか。(同居の親族は含みません)(1つに○)	社会とのつながりについて把握する。	変更前
	22	あなたは、友人・知人の家を訪ねていますか。		変更後
	22-1	その頻度はどのくらいですか。(あてはまるものに○)		変更後
	23	あなたのお住まいの地域で、あなたと違う世代の方と交流する機会についておたずねします。 (1) 交流の必要性(どれか1つに○) (2) 交流の頻度(どれか1つに○)	多世代交流の状況について把握する。	○
	24	あなたの日々の暮らしの中で、地域のつながり(住民同士の助け合い・支え合いなど)についておたずねします。 (1) 地域のつながりの必要性(どれか1つに○) (2) 地域のつながりの実感(どれか1つに○)	日常生活における困りごとや地域とのつながりに関する意識を把握する。	○ (第7期指標)
	25	あなたは、預貯金の出し入れをしていますか。	新規要介護認定発生の可能性を把握する。	新規
	26	あなたは、階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。		新規
	27	あなたは、6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。		新規
	28	あなたは、自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。		新規
	29	(ここ2週間)これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなりましたか。		新規
30	(ここ2週間)自分が役に立つ人間だと思えないことがありますか。	新規		

平成28年度 一般高齢者【重点】調査

平成31年度

見出し	設問番号	設問	ねらい	方向性
地域での支え合いについておたずねします	31	あなたは、現在、地域活動（町会、自治会、子ども会など、以下同様）やボランティア活動等をしていますか。（1つに○）	地域活動やボランティア活動等への参加状況を把握する。	○ （第7期指標）
		あなたは、今後、地域活動やボランティア活動をしてみたいですか。（1つに○）	地域活動やボランティア活動等への参加状況や参加意向のほか、参加に際し必要なことを把握する。	×（理由1）
		あなたはどのような形であれば、地域活動やボランティア活動等に参加しやすいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）		×（理由1）
	32	新宿区では地域の中で高齢者の自立を支援し、多世代が互いに支え合う「地域支え合い活動」を推進しています。あなたは地域支え合い活動に参加してみたいですか。	地域支え合い活動への参加意向を把握する。	新規
	33	あなたが地域支え合い活動に参加する際、障壁となり得ることはどのようなことだと思いますか。（あてはまるものすべてに○）	活動の入口として、どのような障壁があるか探る。	新規
	34	あなたはどのような形なら地域支え合い活動に参加したいですか。（それぞれあてはまるものに○）	参加しやすい活動形態を探る。	新規
	35	あなたはどのような内容なら地域支え合い活動に参加したいですか。（それぞれあてはまるものに○）	参加しやすい活動内容を探る。	新規
	36	あなたが地域支え合い活動に参加する際、どのような立場で参加してみたいですか。（それぞれあてはまるものに○）	活動における役割に対するニーズを発掘する。	新規
37	あなたが地域支え合い活動に参加する際、どのようなサポートが必要ですか。（それぞれあてはまるものに○）	活動に必要とされる支援を把握し、施策展開の参考とする。	新規	
支援を必要とする高齢者を支えるしくみづくりについておたずねします	38	あなたは、支援を必要とする地域の高齢者の身の回りの世話（ごみ出しや買い物の付き添い、見守り等）や生活を支援するボランティア活動に機会があれば参加してみたいですか。（1つに○）	支援を必要とする高齢者の生活支援ボランティアについての意識などを把握することにより、今後の施策展開の参考とする。	○
	39	それはどうしてですか。（あてはまるものすべてに○）		○
	40	支援を必要とする地域の高齢者の身の回りの世話（ごみ出しや買い物の付き添い、見守り等）や生活を支援するボランティア活動をした人が、何らかの対価を受け取ることについて、あなたはどのように思いますか。（1つに○）		○
	41	支援を必要とする地域の高齢者の身の周りの世話や生活を支援するボランティア活動として、あなたが担うことのできそうな支援・サービス（現在支援しているものを含む）はありますか。（あてはまるものすべてに○）		○
	42	あなたは、支援を必要とする高齢者の身の回りの世話や生活を支援するボランティア活動を増やしていくために、どのようなサポートが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）		○

平成28年度 一般高齢者【重点】調査				平成31年度	
見出し	設問番号	設問	ねらい	方向性	
認知症についておたずねします	43	あなたは、この1年間に何度も、もの忘れに加えて、理解・判断力の低下などを感じたことがありますか。(1つに○)	物忘れや理解・判断能力の低下について把握する。	○	
	43-1	もの忘れや理解・判断力の低下などについて、どこかへ相談しましたか。(1つに○)		○	
	43-1-1	どちらに相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)		○	
	44	あなたは、その日の活動(食事をする、衣服を選ぶなど)を自分で判断できますか。(1つに○)	認知機能障害程度(CPS)について把握する。	○	
	45	あなたは、食事を自分で食べられますか。(1つに○)		○	
	46	あなたは、人に自分の考えをうまく伝えられますか。(1つに○)		○	
	47	毎日の生活で、5分前のことが思い出せないことがありますか。(1つに○)		○	
	48	あなたは今までに、自身や家族等が認知症になったときのことについて、考えたことがありますか。(1つに○)		○	
			どのようなことを考えましたか。(あてはまるものすべてに○)	変更前	
	48-1	自分が認知症になっても大切にしたいことは何ですか。	自分や家族が認知症になった時のことや、早期発見時に必要な支援、区民の意識について把握する。	変更後	
	49	認知症が早期に発見された場合、進行を遅らせるなどの対応策があることがわかってきています。早期に発見された場合、どのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)		○	
				どのような情報提供が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)	変更前
	49-1	認知症に関するサービスを知っていますか。(あてはまるものすべてに○)		変更後	
自由記述	50	最後に、高齢者の保健と福祉に関する施策や介護保険について、区へのご要望・ご意見がありましたらご自由にお書きください。		○	

計59問

(内訳：新規…17 継続…31 変更…11 削除…9)

平成31年度 2. 要支援・要介護認定者調査設問の方向性（案）

◆調査対象 新宿区に居住する要支援・要介護認定を受けている者及び基本チェックリスト該当者（無作為抽出 1,500人）

◆方向性 ○→継続 ×→削除（理由1）他の設問へ統合するため（理由2）重点施策変更のため（理由3）その他

平成28年度 要支援・要介護認定者調査				平成31年度
見出し	設問番号	設問	ねらい	方向性
あなたのことをおたずねします	1	あなたの性別をお選びください。（1つに○）		○
	2	あなたの年齢をご記入ください。		○
	3	あなたのお住まいは、どの特別出張所管内ですか。（1つに○）		○
	4	現在、あなたはどなたかと同居していますか。同居している場合は、あなたからみた続柄で、同居している方すべてに○をしてください。	回答者の基本属性を把握する。	○
		あなたは、ご家族やご親戚と連絡をどのくらいとっていますか。（1つに○）		×（理由3）
	4-1	同居の方は、全員65歳以上ですか。（1つに○）		○
		日中、一人になることはありますか。（1つに○）		×（理由3）
	5	あなたが日常生活で困ったことがあった時、同居者以外に誰か手助けを頼める人がいますか。（1つに○）		○
	5-1	手助けを頼める人はどなたですか。（あてはまるものすべてに○）	○	
	6	あなたご本人の収入は、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）	○	
	7	昨年1年間の、あなたとご家族の年間収入（税込）総額はどれくらいですか。（1つに○）	○	
8	あなたは、現在のご自身の暮らし向きをどのように感じていますか。（1つに○）	○		

平成28年度 要支援・要介護認定者調査				平成31年度
見出し	設問番号	設問	ねらい	方向性
お住まいについておたずねします		あなたは、現在のお住まいに何年住んでいますか。（1つに○）	住まいの状況を把握するとともに、住まいでの不便などから課題を探る。	×（理由3）
	9	現在のお住まいは、次のうちどれですか。戸建ての場合は建物の階数、集合住宅の場合は住んでいる階数をそれぞれご記入ください。（1つに○）		○
		現在のお住まいにエレベーターは設置されていますか。（1つに○）		×（理由3）
	10	あなたが、現在のお住まいで、不便や不安を感じていることは、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）		○
お住まいについておたずねします	11	現在のお住まいは次のうちどれですか。（持家・公営借家・民営借家・その他）（1つに○）	新たな住宅セーフティネットにおける住宅確保要配慮者の住み替え需要を把握し、高齢者等の入居支援策を検討する。	新規
	12	あなたは、現在のお住まいに住み続けることができますか。		新規
	13	（住み続けることができないと答えた方にお聞きします）その理由は何ですか。		新規
	14	（民営の借家にお住まいの方にお聞きします）お住まいの賃料・専有面積についてお答え下さい。		新規
	15	あなたは、これからも今のお住まい（自宅等）で生活を続けたいと思いますか。（1つに○）	在宅で暮らし続けることの希望および在宅で暮らし続けるために必要なことを把握する。	○ （第7期指標）
	16	今後も在宅で暮らし続けるために、あなたが特に重要だと思うものは、次のうちどれですか。（あてはまるもの3つに○）		○
日ごろの生活についておたずねします	17	あなたの日々の暮らしの中で、地域のつながり（住民同士の助け合い・支え合いなど）についておたずねします。 （1）地域のつながりの必要性（どれか1つに○） （2）地域のつながりの実感（どれか1つに○）	実際の地域のつながりを把握する。	○
要介護認定についておたずねします	18	あなたの現在の要介護度は、次のうちどれですか。おわかりにならない場合は、ご家族やケアマネジャーにおたずねになり、必ず記入してください。（1つに○）	介護認定申請の動機について把握する。	○
	19	あなたが、介護を必要とするようになった主な原因は、次のうちどれですか。（1つに○）		○

平成28年度 要支援・要介護認定者調査				平成31年度
見出し	設問番号	設問	ねらい	方向性
健康状態や健康づくり等についておたずねします	20	あなたは、現在治療中の病気がありますか。（1つに○）	健康状態を把握する。	○
	20-1	治療中の病気は、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）		○
	20-2	受診している医療機関は、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）		○
	21	あなたには、継続的に診療を受けていたり、体調が悪いときなどに気軽に相談できる診療所・クリニックの「かかりつけ医」がいますか。（1つに○）	かかりつけ医やかかりつけ歯科医に関する状況把握とともに普及・啓発を図る。	○
	21-1	かかりつけ医がいない理由は、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）		○
		あなたは、過去1年以内に入院した経験がありますか。（1つに○）		×（理由2）
		退院にあたって困ったことは、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）		×（理由2）
		退院にあたって、自宅で治療や介護を受けるために、どちらに相談しましたか。（あてはまるものすべてに○）		×（理由2）
	22	あなたは、治療や予防のために気軽に受診できる「かかりつけ歯科医」がいますか。（1つに○）	かかりつけ医やかかりつけ歯科医に関する状況把握とともに普及・啓発を図る。	○
	23	あなたは、往診してくれる歯科医院があることをご存じですか。（1つに○）		○
	24	あなたの食べる機能について、ア～ウのすべての質問にお答えください。（それぞれ1つに○）		○
	24-1	専門家に相談したことはありますか。（1つに○）		○
		あなたは、食べる機能が衰えてきた時、区の在宅医療相談窓口で、相談にのってもらえることをご存じですか。（1つに○）	在宅医療相談窓口の認知度について把握するとともに、周知を図る。	×（理由2）
	25	あなたは、病院・診療所から処方された薬をもらう薬局を1か所に決めていますか。（1つに○）	かかりつけ薬局について把握し、今後の施策展開の参考とする。	○
	25-1	その薬局では、薬の説明を聞いたり、相談をすることができますか。（1つに○）		○
	26	医師や薬剤師に見せることであなたの薬の情報が正しく伝わり、治療方針を検討する役に立てることができる「お薬手帳」を活用していますか。（1つに○）		○

平成28年度 要支援・要介護認定者調査				平成31年度	
見出し	設問番号	設問	ねらい	方向性	
介護保険サービスの利用状況と利用意向についておたずねします	27	あなたは、現在介護保険サービスを利用していますか。（1つに○）	介護保険サービス利用の状況と意向を把握する。	○	
	27-1	介護保険サービスを利用していない理由は、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）		○	
	27-2	現在ご利用の介護保険サービスと利用満足度についておたずねします。		○ （第7期指標）	
		介護保険サービスの利用に要する費用（1割または2割の利用者負担）について、どのようにお感じですか。（1つに○）		変更前	
	27-3	介護保険サービスの利用に要する費用（1割～3割の利用者負担）について、どのようにお感じですか。（1つに○）		変更後	
	28	介護保険サービスで、あなたが今後新たに利用してみたい（または続けたい）ものは、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）		○	
	29	あなたが、在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じるものも含む）はありますか。（あてはまるものすべてに○）		在宅生活の継続に必要な生活支援サービスを把握する。	○
	30	現時点で施設等への入所・入居について、あなたのお考えに最も近いものは、次のうちどれですか。（1つに○）		施設等への入所・入居の検討状況について把握する。	新規
	31	今後、高齢者の増加に伴い、サービスにかかる費用も増大することが予想されます。介護保険のサービスと費用負担について、あなたのお考えに最も近いものは、次のうちどれですか。（1つに○）		保険サービスと保険料の負担についての考えを把握する。	○
緩和医療・ケア	32	あなたは、がんの「緩和医療・ケア」について、ご存じですか。（1つに○）	緩和医療・ケアの認知度や利用意向について把握する。	○	
	33	あなたは、がんで、病状の回復が期待できない場合、「緩和医療・ケア」を受けたいですか。（1つに○）		○	
	34	あなたは、がん以外の病気で、病状の回復が期待できない場合、症状の緩和を主とした医療・ケアを受けたいですか。（1つに○）		○	

平成28年度 要支援・要介護認定者調査				平成31年度
見出し	設問番号	設問	ねらい	方向性
人生の最終段階における医療についておたずねします	35	あなたは、ご自身の最期をどこで迎えたいと思いますか。(1つに○)	自身が最後を迎えたい場所の意向について把握する。	○
	36	あなたは、人生の最終段階において受けた医療や受けたくない医療について、ご家族とどのくらい話し合ったことがありますか。(1つに○)	自身の死が近い時に受けた医療や、エンディングノートの記載について把握する。	○
	36-1	それはどうしてですか。(あてはまるものすべてに○)		○
	37	あなたは、自分で判断出来なくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいかあるいは受けたくないかなどを記載した書面(エンディングノートなど)をあらかじめ作成しておくことについて、どう思いますか。(1つに○)		○
権利擁護についておたずねします	38	あなたが成年後見制度を利用することになった場合、どのような人に後見人になって欲しいと思いますか。すでに利用している方もお答えください。(あてはまるものすべてに○)		成年後見制度に期待する役割などを把握する。
	39	あなたが成年後見制度を利用することになった場合、期待する役割は何ですか。すでに利用している方もお答えください。(あてはまるものすべてに○)	○	
	40	成年後見制度において、社会福祉協議会に期待する役割は何ですか。	○	
	41	あなたが、市民後見人に期待することは何ですか。(あてはまるものすべてに○)	新規	
	42	あなたが、新宿区社会福祉協議会が実施する法人後見事業に期待することは何ですか。(あてはまるものすべてに○)	新規	
災害時の支援についておたずねします	43	災害で困った時、同居者以外で頼りになる人がいますか。(1つに○)	災害発生時に支援をしてくれる存在について把握し、今後の施策へつなげる。	○
	43-1	それはどなたですか。(あてはまるものすべてに○)		○
	44	「災害時要援護者名簿登録」をご存知ですか。	事業の認知度を把握する。	新規

平成28年度 要支援・要介護認定者調査				平成31年度
見出し	設問番号	設問	ねらい	方向性
健康・福祉サービスの情報や相談窓口についておたずねします	45	あなたは、「高齢者総合相談センター」の名称をご存じですか。(1つに○)	高齢者総合相談センターの認知度を把握する。	○
	46	あなたは、「高齢者総合相談センター」が何をする機関かご存じですか。(1つに○)		○
	47	あなたは、あなたのお住まいの地域を担当する「高齢者総合相談センター」がどこにあるかご存じですか。(1つに○)		○
	48	あなたは日ごろ、健康や福祉サービスに関する情報をどのような手段で入手していますか。(あてはまるものすべてに○)	健康や福祉サービスに関する情報入手手段を把握する。	○
	49	あなたの入手している健康や福祉サービスに関する情報量は足りていると思いますか。(1つに○)		○ (第7期指標)
	50	高齢者の保健と福祉に関する施策や介護保険について、区へのご要望・ご意見がありましたらご自由にお書きください。		○
家族等介護者の状況についておたずねします	51	あなたを主に介護している方はどなたですか。(1つに○)	介護者の基本属性を把握する。	○
	52	あなたの性別をお選びください。(1つに○)		○
	53	あなたの年齢をご記ください。		○
	54	あなたは、介護保険の認定を受けていますか。		○
	55	あなたからみて、宛名のご本人はどちらにあたりますか。		○
		あなたは、宛名のご本人を何年介護していますか。		変更前
	56	あなたは、宛名のご本人を週にどのくらい介護していますか。		変更後
	57	あなたを手助けするような、副介護者の方はいますか。		○

平成28年度 要支援・要介護認定者調査				平成31年度
見出し	設問番号	設問	ねらい	方向性
家族等介護者の状況についておたずねします	58	あなたの現在の勤務形態は、次のどれですか。（1つに○）	介護者の就業状況について把握する。	○
	58-1	介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていいますか。（あてはまるものすべてに○）		○
	59	今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（1つに○）		新規
	60	現在の生活を継続していくにあたって、不安を感じる介護等は次のうちどれですか。（現状で行っているか否かは問いません）（あてはまるもの3つまでに○）		新規
	61	宛名のご本人の介護を主な理由として、過去1年の間にご家族やご親族の中で仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（あてはまるものすべてに○）		新規
	62	あなたの介護負担感は、次のうちどれですか。（1つに○）	介護の負担感や、区に望むことを把握する。	○
	62-1	それはどのような理由からですか。（あてはまるものすべてに○）		○
	63	介護者(あなた)への支援として、新宿区に力を入れてほしいことは、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）		○
(宛名ご本人の)認知症についておたずねします	64	宛名のご本人には、認知症の症状がありますか。	認知症の疑いがあった際の相談窓口や、周囲の認知症の理解について把握する。	○
	64-1	あなたは、宛名のご本人が認知症ではないかと気づいた、あるいは不安になったときに、どちらに相談しましたか。（あてはまるものすべてに○）		○
		相談していない理由は、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）		×（理由3）
		認知症のご家族を介護する日々の暮らしの中で、身近な周囲の人々（家族、親戚、ご近所等）の認知症への理解についてどのように思われますか。（1つに○）		×（理由3）
	64-2	認知症のご本人の介護において、必要と思うことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）		○
自由記述	65	介護者の立場から、高齢者の保健と福祉に関する施策や介護保険について、区へのご要望・ご意見がありましたらご自由にお書きください。		○

計81問

(内訳：新規…11 継続…68 変更…2 削除…10)

平成31年度 3. 第2号被保険者調査設問の方向性（案）

- ◆調査対象 新宿区に居住する第2号被保険者（40歳以上65歳未満）（無作為抽出 1,500人）
 ◆方向性 ○→継続 ×→削除（理由1）他の設問へ統合するため（理由2）重点施策変更のため（理由3）その他

平成28年度 第2号被保険者調査				平成31年度
見出し	設問番号	設問	ねらい	方向性
あなたのことをおたずねします	1	あなたの性別をお選びください。（1つに○）	回答者の基本属性を把握する。	○
	2	あなたの年齢をご記入ください。		○
	3	あなたのお住まいは、どの特別出張所管内ですか。（1つに○）		○
	4	あなたの世帯の構成をお選びください。（1つに○）		○
	5	あなたは現在、収入のある仕事をしていますか。（1つに○）	就労の状況や意欲を把握する。	○
	6	あなたは、現在のご自身の暮らし向きをどのように感じていますか。（1つに○）	暮らしの状況を把握する。	○
	7	あなたは、ご家族等の高齢者の介護をしたことがありますか。（1つに○）	介護の経験を把握する。	○
健康状態や健康づくり等についておたずねします	8	あなたは、健康だと思えますか。（1つに○）	健康状態を把握する。（主観的健康観）	○
	9	あなたは、現在治療中の病気がありますか。（1つに○）		○
	9-1	治療中の病気は、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）		○
	9-2	受診している医療機関は、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）		○
	10	いきいきと充実した活動的な高齢期を実現するために、40代から取り組んだほうがよいことは何だと思えますか。（あてはまるものすべてに○）	健康づくりのために早期に取り組んでいることについて把握する。	○
	11	あなたが現在、実践していることはありますか。（あてはまるものすべてに○）		○
	12	あなたには、継続的に診療を受けていたり、体調が悪いときなどに気軽に相談できる診療所・クリニックの「かかりつけ医」がいますか。（1つに○）	かかりつけ医がいない理由について把握する。	○
	12-1	かかりつけ医がいない理由は、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）		○

平成28年度 第2号被保険者調査				平成31年度
見出し	設問番号	設問	ねらい	方向性
日ごろの生活についておたずねします	13	あなたは、近所の方とどのようなお付き合いをしていますか。(1つに○)	地域とのつながりに関する意識を把握する。	○
	14	あなたは、友人・知人と会う頻度はどのくらいですか。(1つに○)		○
	15	あなたのお住まいの地域で、あなたと違う世代の方と交流する機会についておたずねします。 (1) 交流の必要性(どれか1つに○) (2) 交流の頻度(どれか1つに○)	多世代交流の状況及び実際の地域のつながりを把握する。	○
	16	あなたの日々の暮らしの中で、地域のつながり(住民同士の助け合い・支え合いなど)についておたずねします。 (1) 地域のつながりの必要性(どれか1つに○) (2) 地域のつながりの実感(どれか1つに○)	地域とのつながりに関する意識を把握する。	○
支援を必要とする高齢者を支えるしくみづくりについておたずねします	17	あなたは、現在、地域活動(町会、自治会、子ども会など、以下同様)やボランティア活動等をしてしていますか。(1つに○)	いきがい、興味のある地域活動やボランティア活動など参加の有無等、特技や資格を把握する。	○
	17-1	あなたは、今後、地域活動やボランティア活動等をしてみたいですか。(1つに○)		○
	18	あなたはどのような形であれば、地域活動やボランティア活動等に参加しやすいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)		○
	19	あなたは、支援を必要とする地域の高齢者の身の回りの世話(ごみ出しや買い物の付き添い、見守り等)や生活を支援するボランティア活動に機会があれば参加してみたいですか。(1つに○)	支援を必要とする高齢者の生活支援ボランティアについての意識などを把握することにより、今後の施策展開の参考とする。	○
	19-1	それはどうしてですか。(あてはまるものすべてに○)		○
	20	支援を必要とする地域の高齢者の身の回りの世話(ごみ出しや買い物の付き添い、見守り等)や生活を支援するボランティア活動をした人が、何らかの対価を受け取ることについて、あなたはどのように思いますか。(1つに○)		○
	21	支援を必要とする地域の高齢者の身の周りの世話や生活を支援するボランティア活動として、あなたが担うことのできそうな支援・サービス(現在支援しているものを含む)はありますか。(あてはまるものすべてに○)		○
22	あなたは、支援を必要とする高齢者の身の回りの世話や生活を支援するボランティア活動を増やしていくために、どのようなサポートが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)	○		

平成28年度 第2号被保険者調査				平成31年度
見出し	設問番号	設問	ねらい	方向性
若年性認知症についておたずねします	23	あなたは「若年性認知症」という病気をご存じですか。	若年性認知症に関する理解の促進や、必要な支援について把握する。	○
	23-1	「若年性認知症」を何でお知りになりましたか。（あてはまるものすべてに○）		○
	24	あなたは、もの忘れや理解・判断力の低下、そのことによる工作上的なトラブルなど気になる症状があったとき、どちらに相談しようと思いますか。（あてはまるものすべてに○）		○
	25	あなたは、若年性認知症の支援には何が必要だと思いますか。		○
在宅療養等についておたずねします	26	あなたは、介護が必要になった場合、どこで生活を続けたいと思いますか。（1つに○）	在宅で暮らし続けることの希望および在宅で暮らし続けるために必要なことを把握する。	○
	27	介護や医療が必要になっても、高齢者が在宅で暮らし続けるために、特に重要だと思うものは何ですか。（あてはまるもの3つに○）		○
	28	あなたは、脳卒中の後遺症や末期がんなどで長期の療養が必要になった場合、理想として自宅で療養を続けたいと思いますか。（1つに○）		○
	29	ご自宅での療養は実現可能だと思いますか。（1つに○）	在宅療養を困難にするものを把握する。	○
	29-1	実現は難しいと思う理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）		○
人生の最終段階における医療についておたずねします	30	あなたは、ご自身の最期をどこで迎えたいと思いますか。（1つに○）	エンディングノートの記載経験や、在宅療養を困難にするものについて把握する。	○
	31	あなたは、人生の最終段階において受たい医療や受たくない医療について、ご家族とどのくらい話し合ったことがありますか。（1つに○）		○
	31-1	それはどうしてですか。（あてはまるものすべてに○）		○
	32	あなたは、自分で判断出来なくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいかあるいは受けたくないかなどを記載した書面（エンディングノートなど）をあらかじめ作成しておくことについて、どう思いますか。（1つに○）		○

平成28年度 第2号被保険者調査				平成31年度
見出し	設問番号	設問	ねらい	方向性
緩和医療・ケアについておたずねします	33	あなたは、がんの「緩和医療・ケア」について、ご存じですか。(1つに○)	緩和医療・ケアの認知度や利用意向について把握する。	○
	34	あなたは、がんで、病状の回復が期待できない場合、「緩和医療・ケア」を受けたいですか。(1つに○)		○
	35	あなたは、がん以外の病気で、病状の回復が期待できない場合、症状の緩和を主とした医療・ケアを受けたいですか。(1つに○)		○
介護保険制度についておたずねします	36	あなたは「介護保険制度」について、どのようなことをご存じですか。(あてはまるものすべてに○)	保険サービスと保険料の負担についての考えを把握する。	○
	37	今後、高齢者の増加に伴い、サービスにかかる費用も増大することが予想されます。介護保険のサービスと費用負担について、あなたのお考えに最も近いものは、次のうちどれですか。(1つに○)		○
権利擁護についておたずねします	38	あなたが成年後見制度を利用することになった場合、どのような人に後見人になって欲しいと思いますか。すでに利用している方もお答えください。(あてはまるものすべてに○)	成年後見制度に期待する役割などを把握する。	○
	39	あなたが成年後見制度を利用することになった場合、期待する役割は何ですか。すでに利用している方もお答えください。(あてはまるものすべてに○)		○
	40	成年後見制度において、社会福祉協議会に期待する役割は何ですか。(あてはまるものすべてに○)		○
	41	あなたは、「新宿区成年後見センター」をご存じですか。(1つに○)		○
	42	あなたが、市民後見人に期待することは何ですか。(あてはまるものすべてに○)		新規
	43	あなたが、新宿区社会福祉協議会が実施する法人後見事業に期待することは何ですか。(あてはまるものすべてに○)		新規

平成28年度 第2号被保険者調査				平成31年度
見出し	設問番号	設問	ねらい	方向性
健康・福祉サービスの相談窓口についておたずねします	44	あなたは、「高齢者総合相談センター」の名称をご存じですか。(1つに○)	高齢者総合相談センターの認知度や機能などを知っているか把握する。	○
	45	あなたは、「高齢者総合相談センター」が何をする機関かご存じですか。(1つに○)		○
	46	あなたは、あなたのお住まいの地域を担当する「高齢者総合相談センター」がどこにあるかご存じですか。(1つに○)		○
	47	あなたは、地域で困っている高齢者を見かけたり、異変に気付いたとき、どちらに相談しますか(1つに○)	高齢者の異変に気付いた際の相談先について把握する。	○
		あなたに在宅医療や介護が必要になった場合、どのような相談体制を望みますか。(あてはまるものすべてに○)	介護が必要になった場合の相談先について把握する。	×(理由3)
自由記述	48	最後に、高齢者の保健と福祉に関する施策や介護保険について、区へのご要望・ご意見がありましたらご自由にお書きください。		○

計56問

(内訳：新規…2 継続…54 変更…0 削除…1)

平成31年度 4. ケアマネジャー調査設問の方向性（案）

◆調査対象 新宿区内の居宅介護支援事業所に勤務するケアマネジャー 約200人

◆方向性 ○→継続 ×→削除（理由1）他の設問へ統合するため（理由2）重点施策変更のため（理由3）その他

平成28年度 ケアマネジャー調査				平成31年度
見出し	設問番号	設問	ねらい	方向性
勤務先の事業所の概要について	1	あなたの所属する事業所の組織(法人格)は、次のうちどれですか。（1つに○）	勤務先の事業所が実施している介護保険サービス内容等を把握する。	○
	2	あなたの居宅介護支援事業所のケアマネジャーは、あなたも含めて何人ですか。そのうち、主任ケアマネジャーは何人ですか。		○
		あなたの所属する事業所は、居宅介護支援事業の他に介護保険サービス事業を運営していますか。なお、同じ所在地内に限りません。		変更前
		運営しているサービス内容は、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）		変更前
	3	あなたの所属する事業所が、居宅介護支援事業の他に提供しているサービスは、どれですか。		変更後
あなた自身のことについて	4	あなたの性別をお選びください。（1つに○）	ケアマネジャーの基本属性を把握する。	○
	5	あなたの年齢をお選びください。（1つに○）		○
	6	あなたの勤務形態をお選びください。（1つに○）		○
	7	あなたのケアマネジャーの経験年数をお選びください。 ※他事業所での年数も含む（1つに○）		○
	8	あなたは、介護支援専門員以外にどのような資格をお持ちですか。（あてはまるものすべてに○）		○
ケアマネジメントの状況について	9	あなたが11月1日現在、担当している人数を教えてください。	ケアマネジメント業務を行うなかでの課題等を把握する。	○
	10	過去1年間で、あなたが支援困難と感じたケースは、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）		○
	11	あなたは、過去1年間で、虐待に繋がる可能性のあるケースを担当したことがありますか。なお、ある場合は、回数をご記入ください。		○

平成28年度 ケアマネジャー調査				平成31年度
見出し	設問番号	設問	ねらい	方向性
高齢者総合相談センターのケアマネジャーへの支援について	12	過去1年間で、あなたは、利用者に関して高齢者総合相談センターへ相談したことがありますか。(1つに○)	高齢者総合相談センターの支援について把握する。	○
	12-1	相談した分野は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)		○
	12-2	高齢者総合相談センターへ相談した際の全般的な評価は、次のうちどれですか。(それぞれ1つに○)		○
各種連携の状況について	13	あなたはケアマネジャーとして、主治医(かかりつけ診療所・クリニック)との連携はとれていますか。(1つに○)	主治医との連携状況について把握する。	○
	14	あなた自身の、主治医(かかりつけ診療所・クリニック)との連携における課題は何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)		○
	15	あなたはケアマネジャーとして、病院(医師、看護師、医療ソーシャルワーカー等)との連携状況について、どのように思えますか。(1つに○)	病院との連携状況について把握する。	○
	16	あなた自身の、病院(医師、看護師、医療ソーシャルワーカー等)との連携における課題は何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)		○
		あなたはケアマネジャーとして、介護保険サービス事業所との連携はとれていますか。(1つに○)	各種連携の状況について把握する。	×(理由1)
	17	あなた自身の、介護保険サービス事業所との連携における課題は何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)		○
	18	あなたからみて、新宿区内の在宅医療・介護連携の状況について、どのように思えますか。(1つに○)	医療と介護の連携にかかる課題について把握する。	○
	19	あなたからみて、新宿区内の在宅医療・介護連携を推進するためには、どのようなことが必要だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)		○
	19-1	多職種で患者情報の共有を行うためにICTを活用することについて、どのように考えますか。(あてはまるものすべてに○)		○

平成28年度 ケアマネジャー調査				平成31年度
見出し	設問番号	設問	ねらい	方向性
在宅医療への対応について	20	あなたは、区の「在宅医療相談窓口」で、在宅療養に関する医療を中心とした相談が受けられるということをご存じですか。（1つに○）	「在宅医療相談窓口」の活用について把握する。	○
	20-1	「在宅医療相談窓口」で活用していることや期待することがあれば、ご自由にお書きください。		○
	21	あなたは、利用者が入院している時の病院との連携について、入院時、退院が決まった時、退院直後の高齢者等の医療の継続のためにどのように対応していますか。（あてはまるものすべてに○）	退院時の対応について把握する。	○
ケアプランへの組み込みについて	22	あなたは、ケアプランの作成にあたって、（ア）組み込みにくいと思う介護保険のサービスはありますか。ある場合は、（イ）その理由をお答えください。	ケアプランに組み込みにくい介護保険サービスについて把握する。	○
	23	区などが提供している介護保険外の高齢者福祉サービス等で、あなたがケアプランの作成にあたり、検討するものは、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）	保険外サービスの利用状況を把握する。	○
在宅高齢者に必要な支援について	24	介護や医療が必要になっても、高齢者が在宅で暮らし続けるために、特に重要だと思うものは何ですか。（あてはまるもの3つに○）	要介護者が在宅で暮らし続けるために必要だと思うことについて把握する。	○
	25	要介護者等（特に、一人暮らしの高齢者）が、在宅で暮らし続けるために、今後必要なサービスとして、どのようなものが考えられますか。ご自由にお書きください。	在宅で暮らし続けるために今後必要なサービスを把握する（自由記述）。	○
認知症について		認知症高齢者への支援にあたって、特に重要と思われることは、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）	認知症について把握する。	×（理由3）
	26	あなたには、認知症に関して相談のできる機関がありますか。（○は1つ）		○
	26-1	どちらに相談していますか。（あてはまるものすべてに○）		○
在宅療養・看取りについて	27	あなたが看取りをサポートする側に立った場合、特に欠かせないと思うことは何ですか。（1つに○）	安心して看取りをサポートするために必要なものを把握する。	○
	28	過去1年間で、あなたは在宅で看取りをしたケースがありますか。なお、ある場合は、回数をご記入ください。（1つに○）		○

平成28年度 ケアマネジャー調査				平成31年度
見出し	設問番号	設問	ねらい	方向性
ケアマネジャーの仕事について	29	あなたは、ケアマネジャーの仕事について、どのようにお考えですか。（それぞれ1つに○） ①やりがいがあると思いますか。 ②人の役に立てる仕事だと思いますか。 ③専門知識・技能の必要な仕事だと思いますか。 ④業務量が過大な仕事だと思いますか。 ⑤精神的ストレスの大きい仕事だと思いますか。 ⑥社会的評価は高いと思いますか。 ⑦報酬は業務に見合っていると思いますか。 ⑧介護福祉士や社会福祉士のような国家資格化は必要だと思いますか。 ⑨ケアマネジャーの独立性・中立性・公平性は保たれていると思いますか。	ケアマネジャーの仕事についての考えを把握する。	○
スキルアップについて	30	あなたは、研修に参加していますか。（1つに○）	スキルアップのための研修への参加状況を把握する。	○
	30-1	どのような研修内容が、あなたのスキルアップにつながりましたか。（あてはまるものすべてに○）		○
今後の意向について	31	あなたは、これからもケアマネジャーを続けたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）	ケアマネジャーの仕事に関する今後の継続意向等を把握する。	○
	31-1	ケアマネジャーを続けたくないと思う理由は、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）		○
	31-2	迷っている理由があればお聞かせください。		○
新宿区への要望について	32	ケアマネジャーの立場からみて、保険者である区に対して、何を望みますか。（あてはまるものすべてに○）	保険者である新宿区への要望を把握する。	○
	33	あなたが日頃、利用者や介護事業者等の関係機関と接している中で、かかわりの一番深い特別出張所管轄をお選びください。（1つに○）	かかわりの深い地域の特性や課題を把握する。（選択肢）	○
	3-1	当該の管轄地域について、どのように思われますか。（それぞれ1つに○）		○
自由記述	34	在宅介護に関して気になっている点など、ご自由にお書きください。		○

計43問

（内訳：新規…0 継続…42 変更…1 削除…2）

平成31年度 5. 介護保険サービス事業所調査設問の方向性（案）

※施設等調査を統合

◆調査対象 新宿区内の介護保険サービス事業所 約200所

◆方向性 ○→継続 ×→削除（理由1）他の設問へ統合するため（理由2）重点施策変更のため（理由3）その他

平成28年度 介護保険サービス事業所調査				平成31年度
見出し	設問番号	設問	ねらい	方向性
貴事業所の概要について	1	貴事業所の組織(法人格)は、次のうちどれですか。(1つに○)	指定を受けている介護保険サービスの経営状況や今後の事業展開の意向等を把握する。	○
		貴事業所の属する法人の事業エリアは、次のうちどれですか。(1つに○)		×(理由3)
収支状況・処遇改善の状況について	3	貴事業所の、本年度の収支状況(見込み)はどうですか。(1つに○)	収支状況および処遇改善に向けた取り組み等を把握する。	○
	4	貴事業所の、昨年度と比較した収支状況はどうですか。(1つに○)		○
	5	貴事業所では昨年度、処遇改善(給与や時給単価のアップなど)を行いましたか。(1つに○)		○
	5-1	貴事業所の従業員にどのような効果があったと思いますか。(あてはまるものすべてに○)		○
		貴事業所の収支の向上や改善を図るにあたって、どのような考え方が最も近いですか。(1つに○)		×(理由3)
	6	貴事業所では、収支の向上や改善に向けて、どのような取り組みを行っていますか。また差し支えなければ、貴事業所の特徴的な取り組みについて、お聞かせください。(あてはまるものすべてに○)		○
事業所で取り扱っているサービスについて	7	貴事業所が区内で提供しているサービスの種類、利用申込者の受入状況、経営状況、今後4年間における事業展開の意向についておたずねします。	指定を受けている介護保険サービスの経営状況や今後の事業展開の意向等を把握する。	○
今後の参入意向について	8	貴事業所では、小規模多機能型居宅介護への参入についてどのようにお考えですか。(1つに○)	今後の参入意向を把握する(小規模多機能型居宅介護)。	○
	8-1	貴事業所では、小規模多機能型居宅介護への参入課題をどのようにお考えですか。(あてはまるものすべてに○)		○
	9	貴事業所では、看護小規模多機能型居宅介護への参入についてどのようにお考えですか。(1つに○)	今後の参入意向について把握する(看護小規模多機能型居宅介護)。	○
	9-1	看護小規模多機能型居宅介護への参入課題をどのようにお考えですか。(あてはまるものすべてに○)		○

平成28年度 介護保険サービス事業所調査

平成31年度

見出し	設問番号	設問	ねらい	方向性
総合事業について	10	貴事業所では、今後も継続して総合事業に取り組むために必要なことは、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）	総合事業のサービス継続に必要なことについて把握する。	○
人材の確保・定着・育成について	11	この1年間、貴事業所の人材の確保の状況はどうか。（1つに○）	人材の新規確保・育成等のための取り組みを把握する。	○
	12	貴事業所では、人材の確保について、どのような取り組みを行っていますか。また差し支えなければ、貴事業所の特徴的な取り組みについて、お聞かせください。（あてはまるものすべてに○）		○
	13	貴事業所のこの1年間の離職率はどのくらいですか。（1つに○）		○
	14	貴事業所では、人材の定着・育成について、どのような取り組みを行っていますか。また差し支えなければ、特徴的な取り組みについて、お聞かせください。（あてはまるものすべてに○）		○
	15	貴事業所で、職員のスキルアップを図るには、どのような実習・研修が必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）	スキルアップに向けて必要な実習や研修について把握する。	○
	16	人材の定着・育成にあたり、何か課題等があれば、ご自由にお書きください。		○
高齢者総合相談センターの事業所への支援について	17	貴事業所は、利用者に関して高齢者総合相談センターへ相談したことがありますか。（1つに○）	高齢者総合相談センターとの連携状況を把握する。	○
	17-1	相談した分野は、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）		○
	17-2	高齢者総合相談センターへ相談した際の全般的な評価は、次のうちどれですか。（それぞれ1つに○）		○

平成28年度 介護保険サービス事業所調査

平成31年度

見出し	設問番号	設問	ねらい	方向性
各種連携の状況について	18	貴事業所において、ケアマネジャーとの連携はとれていますか。(1つに○)	ケアマネジャーとの連携実態を把握する。	○
	19	貴事業所にとって、ケアマネジャーとの連携における課題は何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)		○
	20	貴事業所からみて、新宿区内の在宅医療・介護連携の状況について、どのように思えますか。(1つに○)	医療と介護の連携状況について把握する。	○
	21	貴事業所からみて、新宿区内の在宅医療・介護連携を推進するためには、どのようなことが必要だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)		○
	21-1	多職種で患者情報の共有を行うためにICTを活用することについて、どのように考えますか。(あてはまるものすべてに○)		○
介護保険によらないサービスについて	22	貴事業所では、介護保険の被保険者に対して、介護保険制度によらないサービスを提供していますか。(1つに○)	介護保険の給付によらないサービスの提供状況について把握する。	○
	22-1	提供している介護保険制度によらないサービスは、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)		○
	23	貴事業所で、介護保険の被保険者に対して、今後提供したい(続けたい)介護保険制度によらないサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)		○
地域貢献活動について	24	貴事業所では、地域とかがわる活動を実施していますか。(1つに○)	地域貢献活動の状況について把握する。	○
	24-1	その理由は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)		○
	24-2	どのような活動をしていますか。(あてはまるものすべてに○)		○
	25	貴事業所で、今後実施したい(続けたい)地域とかがわる活動はありますか。(あてはまるものすべてに○)		○
在宅医療への対応について	26	区の「在宅医療相談窓口」で、在宅療養に関する医療を中心とした相談が受けられるということをご存じですか。(1つに○)	在宅療養相談窓口の認知度について把握する。	○
	26-1	「在宅医療相談窓口」で活用していることや期待することがあれば、ご自由にお書きください。		○

平成28年度 介護保険サービス事業所調査				平成31年度
見出し	設問番号	設問	ねらい	方向性
看取りについて	27	過去1年間で、在宅で看取りをしたケースがありますか。ある場合は、回数もご記入ください。(1つに○)	看取りをサポートするために必要なことについて把握する。	○
	28	看取りをサポートする側に立った場合、特に欠かせないと思うことは何ですか。(1つに○)		○
身体拘束等の廃止の取組について	29	身体拘束廃止に向けてどんな取組を行っていますか。	30年度改正により身体拘束等の更なる適正化が盛り込まれたが、実態を把握するため(6.施設等調査問5から変更)	新規
新宿区への要望	30	事業者の立場から、保険者である新宿区に対して、何を望みますか。(あてはまるものすべてに○)	新宿区への要望を把握する。	○
	31	事業者の立場からみて、新宿区の高齢者支援の状況をどうお考えですか。(それぞれ1つに○)	新宿区の高齢者支援策についての考えを把握する。	○
自由記述	32	高齢者の保健と福祉に関する施策や介護保険について、ご要望・ご意見がありましたらご自由にお書きください。		○
	33	今後の事業展開について、貴事業所のお考え、ご意見等がございましたらご自由にお書きください。		新規

計42問

(内訳：新規…2 継続…40 変更…0 削除…2)

平成31年度 6. 施設等調査設問の方向性（案）

※介護保険サービス事業所調査へ統合

- ◆調査対象 介護老人福祉施設、認知症対応型共同生活介護事業所、特定施設入居者生活介護事業所 約50所
 ◆方向性 ○→継続 ×→削除（理由1）他の設問へ統合するため（理由2）重点施策変更のため（理由3）その他

平成28年度 施設等調査				平成31年度
見出し	設問番号	設問	ねらい	方向性
施設の概要	1	貴施設で指定を受けているサービスの種類は、次のうちどれですか。（1つに○）	施設のサービス種別や法人格を把握する。	○ (5.介護保険サービス事業所調査問8)
	2	貴施設の組織（法人格）は、次のうちどれですか。（1つに○）		○ (5.介護保険サービス事業所調査問1)
	3	貴施設の職員体制（実人数）を、常勤、非常勤に分けてご記入ください。	施設の職員体制を把握する。	×（理由3）
	4	貴施設の定員数と入所（居）者（実人数）をご記入ください。	施設の定員数と入所者数を把握する。	○ (5.介護保険サービス事業所調査問8へ統合)
尊厳の保持について	5	貴施設では、入所（居）者の尊厳の保持について、どのような取り組みを行っていますか。（あてはまるものすべてに○）	尊厳の保持のために取り組んでいることについて把握する。	変更 (5.介護保険サービス事業所調査内新規設問)
口腔管理の状況について	6	貴施設では、入所（居）者の口腔状況を把握していますか。（1つに○）	利用者の口腔状況や、誤嚥・窒息について不安なことを把握する。	×（理由3）
	6-1	どのように把握していますか。（あてはまるものすべてに○）		×（理由3）
	7	貴施設では、入所（居）者の誤嚥や窒息について、不安や心配なことはありますか。（1つに○）		×（理由3）
	7-1	相談できる専門家がいますか。（1つに○）		×（理由3）
認知症の支援体制について	8	貴施設では、入所（居）者の認知症ケアに関する方針を定めていますか。（1つに○）	認知症の支援体制を把握する。	×（理由3）
	9	貴施設では、認知症への対応に関する職員の研修をどのように行っていますか。（あてはまるものすべてに○）		×（理由3）
	10	貴施設において、認知症の方のBPSD(行動・心理症状)への対応で特に気をつけている症状は、次のうちどれですか。（あてはまるもの3つに○）		×（理由3）
	11	貴施設において、認知症の方への対応で課題となっていることは、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）		×（理由3）

平成28年度 施設等調査				平成31年度
見出し	設問番号	設問	ねらい	方向性
人生の最終段階における医療およびケアの方針について	12	貴施設における、厚生労働省の「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」について、あてはまるものを選んでください。(1つに○)	終末期医療およびケアの方針を把握する。	×(理由3)
	13	貴施設では、厚生労働省のガイドライン以外に、人生の最終段階における医療およびケアの手引きやマニュアル類でどのようなものを利用していますか。(1つに○)		×(理由3)
	14	貴施設において、現在の入所(居)者の人生の最終段階における医療およびケアに関する方針は、次のうちどれですか。(1つに○)		×(理由3)
以下は問14で「1 入所(居)者や家族の強い希望があれば、施設で人生の最終段階における医療およびケアを行う」と回答した方のみおたずねします。)				
人生の最終段階における医療およびケアの実践について	15	貴施設では、入所(居)者が治療の選択について、自分で判断できなくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいか(あるいは受けたくないか)、自分で判断できなくなった場合に備えて代わりに誰に判断してもらいたいかということを、あらかじめ記載する書面(事前指示書)を作成していますか。(1つに○)	終末期の事前指示書策定状況について把握する。	×(理由3)
人生の最終段階における医療およびケア体制及び実践について	16	貴施設では、夜間看護師のオンコール体制をとっていますか。(1つに○)	夜間のオンコール体制や、医療機関との連携体制について把握する。	×(理由3)
	17	貴施設では、医師との24時間の連絡体制をとっていますか。(1つに○)		×(理由3)
	18	貴施設では、人生の最終段階における医療およびケアに関する職員の研修をどのように行っていますか。(あてはまるものすべてに○)	終末期医療及びケアについての職員への研修状況について把握する。	×(理由3)
	19	人生の最終段階における医療およびケアを行うにあたって、職員向けにどのような研修テーマが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)		×(理由3)
	20	貴施設からみて、人生の最終段階における医療およびケアを行うにあたっての問題点は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)	終末期医療及びケアについての問題点を把握する。	×(理由3)
	21	貴施設では、過去1年間で、看取りをしたケースがありますか。ある場合は、その回数もご記入ください。(1つに○)	終末期医療およびケアの実践について把握する。	×(理由3)